

登録コード	J5490300	開講年度	2026					
授業科目	アントレプレナー演習					担当教員	藤野 義和	
英文授業名	Seminar in Entrepreneur					副担当		
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	(23カリ対象科目) 経：3年	
講義室				授業区分	演習	遠隔授業科目		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					⇔	【授業の達成目標】	
	経法23初（2026改）・応用経済，経法23初・応用経済							
	専門知識を応用・実践する力として，計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価，実験経済学による社会制度の機能の検証，医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題発掘，法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証，などのスキルを習得し，経済の実情に即した政策提言，あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。					⇔	現代社会や企業が抱える課題に対して，経営学的な専門知識を応用・実践し解決方法を提案する能力	
	環境問題，少子高齢化，自然・経済リスクの管理，コーポレート・ガバナンス等の法制度がかかわる問題などについて，現実に関連領域との協力が必要となる。このために，関連する分野の考え方を正しく理解して経済学的分析手法との相違を把握し，経済学の知見を，柔軟にまた建設的に応用できる能力を身につける。					⇔	現代社会や企業が抱える課題を正しく理解して，経営学的分析手法を把握し，解決方法を提案する能力	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本講義は複数の長野県企業に協力してもらい、それら企業の活動や資源を活用した新しいプランや既存の課題解決を目指すプランを作成することを目的とします。長野県の企業（特に中小、中堅）の活動に共感し、共感内容を他者に広めようとする人材、企業が思いつかないような手持ち資源の活用方法の立案、どのようにすれば「持続」「発展」可能かについて考察し、論理的に説明できる能力を身につけることを目的とします。							
(5)授業計画	第1回～3回：事前学習、事前調査（7月末） 第4回～7回：協力企業のプレゼン、ディスカッション 第8回～10回：フィールド調査 第11回～13回：協力企業とのディスカッション（プラン作成） 第14回～15回：授業アンケート、活動発表とレポート提出（1週間以内に提出日を設ける予定）							
(6)成績評価の方法	ディスカッションの貢献度，成果発表，レポートにより評価します。							
(7)成績評価の基準	以下の基準を1項目満たしていれば「標準的である」，2項目満たしていれば「やや上にある」，3項目満たしていれば「かなり上にある」，4項目満たしていれば「卓越している」 ・グループワークにおける貢献度が高い ・報告内容における論理性が優れている ・演習中の活動に積極性が認められる							
(8)事前事後学習の内容	・事後学習：講義時に指定した課題をこなす。 ・事前学習：事後学習後、次の講義時に講師に問う内容を検討する。							
(9)履修上の注意	開講日程 1から3回は7月の水曜日5限、その他は9月の夏休み期間の開催を予定しています。決定次第、履修者に連絡します。 内容 グループで取り組んでもらいます。							
(10)質問、相談への対応	yoshikazufujino@shinshu-u.ac.jpまで							
【教科書】	特になし							
【参考書】	特になし							